

富士見市立本郷中学校だより



# 群青



令和6年度全国学力・学習状況調査報告

群青 全国学調号

## 1 調査の目的(文部科学省)

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒(小学校6年生・中学校3年生)の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 分析結果と課題

### (1) 学力(平均正答率) 単位(%)

内容	全国	埼玉県	本郷中
国語	58.1	59	63
数学	52.5	53	55

本校の3年生は、全国・県と比較し2教科とも平均正答率を大きく上回り、全体を通して、国語や数学を苦手としていた生徒がこれまでの2年間の取組をとおして、学力を伸ばしている傾向がある。問題別調査結果を分析すると、各教科にて以下のような結果となった。

### 【国語】

すべての領域・観点で全国平均を上回っているが、「話すこと・聞くこと」において若干苦手としている。他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができる力を伸ばしたい。また、漢字の記述問題(「満ち足りた」)の無解答率が10.6%と高かった。日頃から漢字の習得に励ませたい。

### 【数学】

すべての領域・観点で全国平均を上回っており、「数と式」「データの活用」を得意としている。記述式問題への解答を若干苦手としており、証明や、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる力を伸ばしていきたい。

身につけた基本的知識を今後も粘り強く問題に取り組み、自分の考えを表現しようする力が身に付いてきているが、各教科における基本的な「知識・技能」の習得が不十分であるという結果となった。

(2) 学習状況 ※「はい」+「どちらかといえばはい」の割合 単位(%)  
 ( )内は分析と今後の方針

	質問項目	全国	本郷中
1	国語の勉強は好きですか (国語の学習に前向きに取り組む生徒が多い)	64.3	70.9
2	数学の勉強は好きですか (数学の学習に前向きに取り組む生徒が多い)	57.2	77.7
3	自分には、よいところがあると思いますか (自己肯定感を育て、自分に自信をもたせていく)	83.3	74.7
4	将来の夢や目標を持っていますか (学習・生活を将来の夢や目標につなげていきたい)	66.3	65.1
5	いじめは、どんなことがあってもいけないことだと思いますか (高い水準を維持しているが、ここは100%にする)	95.7	96.1
6	人の役に立つ人間になりたいと思いますか (引き続き、他者のために活躍できる生徒を育てていく)	95.2	98.1
7	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか (他者の考えを受け入れながら学び合うことができている)	76.2	85.4
8	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか (地域や社会に貢献する生徒を育てていく)	76.1	83.5

### 3 課題の解決策

質問紙調査(学習状況や生活等に関するアンケート)では、69のアンケート項目に回答しているが、そのうち8項目を取り上げた。

今回の調査では、教科に対する好き嫌いが、学力に直結していることがわかる。この調査は国語と数学のみであるが、他の教科も含めて、学校ではそれぞれの教科に対して、日常生活の中での活用につなげたり、将来、社会に出たときに役に立つなどの意識付けをし、学習意欲の向上につなげていきたい。

心配している点として、「自分には、よいところがあると思いますか」という質問に対する回答が低いこと。自分の長所、短所どちらも受け入れて、「自分は自分でいいのだ。自分のままで存在する価値があるのだ」と自身を肯定できる『自己肯定感』、自分自身の存在が人の役に立っているという『自己有用感』を学校生活の中で培っていかねばならない。そのために「将来の夢や目標」をもたせ、自分なりに一歩ずつ努力できる生徒を育成していく。

富士見市立本郷中学校だより



# 群青



令和6年度埼玉県学力・学習状況調査報告

群青 県学調号

## 1 調査の目的（埼玉県教育委員会HPより）

県教育委員会では、子供たちが現在の実力を知り、「どれだけ自分が伸びたか」を実感し、自信を深めていくことを大切にしたいと考えています。

そして、自信を持った子供たちが、自分をさらに伸ばし、自分のよさを活かしていけるような教育を進めていきたいと考えています。本調査は、「学習した内容がしっかりと身に付いているのか」という今までの視点に、「一人一人の学力がどれだけ伸びているのか」という視点を加えることで、子供たちの成長していく姿が見える、全国でも初めての調査です。

## 2 分析結果と課題

(1) 学力（平均正答率・学力の伸び・昨年度一年間で伸びた生徒の割合）

3年国語	R6平均	R4中1	R5中2	R6中3	学力伸び	伸びた生徒
埼玉県	66.4	8-C	8-B	9-C	2	54.6%
本郷中	69.4	7-A	8-A	9-B	2	51.4%
3年数学	R6平均	R4中1	R5中2	R6中3	学力伸び	伸びた生徒
埼玉県	57.5	7-B	8-C	8-C	0	51.1%
本郷中	62.4	7-A	8-B	8-B	0	51.4%
3年英語	R6平均	R4中1	R5中2	R6中3	学力伸び	伸びた生徒
埼玉県	54.6	—	9-C	10-C	3	73.9%
本郷中	59.3	—	9-C	10-B	4	80.6%
2年国語	R6平均	R5中1	R6中2		学力伸び	伸びた生徒
埼玉県	60.3	8-C	8-C		0	52.9%
本郷中	57.1	7-A	7-A		0	56.7%
2年数学	R6平均	R5中1	R6中2		学力伸び	伸びた生徒
埼玉県	48.8	7-C	7-A		2	73.1%
本郷中	49.2	6-A	7-A		3	82.9%
2年英語	R6平均	R5中1	R6中2			
埼玉県	61.9	—	9-C			
本郷中	61.7	—	9-C			
1年国語	R6平均	R6中1				伸びた生徒
埼玉県	59.9	7-A				54.6%
本郷中	55.3	7-C				51.4%
1年数学	R6平均	R6中1				伸びた生徒
埼玉県	53.5	6-B				51.1%
本郷中	47.6	6-C				51.4%

## （2）結果分析

この学力調査は、設問ごとに難易度が設定されており、前年度Bレベルの問題を解けた生徒が今年度もBレベルの問題を解けていれば着実に伸びていると判定されます。また、小学校4年生から中学校3年生まで6年間継続して、児童生徒個人の学力の伸びを追っていきます（1年生は、データの引継ぎにより、小学校時代からの学力の伸びも反映されています）。よって、全体の平均値や個人の「学力」が県平均を上回っているかなどという視点ではなく、全体や個人が昨年度1年間でどれだけ伸びたかに着目します。ご家庭でも、個人結果票のグラフが着実に階段状に上がって行っているかをご確認ください。

※レベルは数字3段階で上がり、アルファベットも3段階（C⇒B⇒A）で上がる。

### 【3年生】

**国語**は、厳しいスタートだった1年生の一年間で一気に伸び、昨年度（2年生）の一年間は高いレベルのまま維持していることがわかる。とくに「読むこと」を得意としている。**数学**は、関数やデータの活用を得意とし、高いレベルを維持している。**英語**は、8割の生徒が学力を伸ばしている。とくに「話すこと」を得意としている生徒が多い。

### 【2年生】

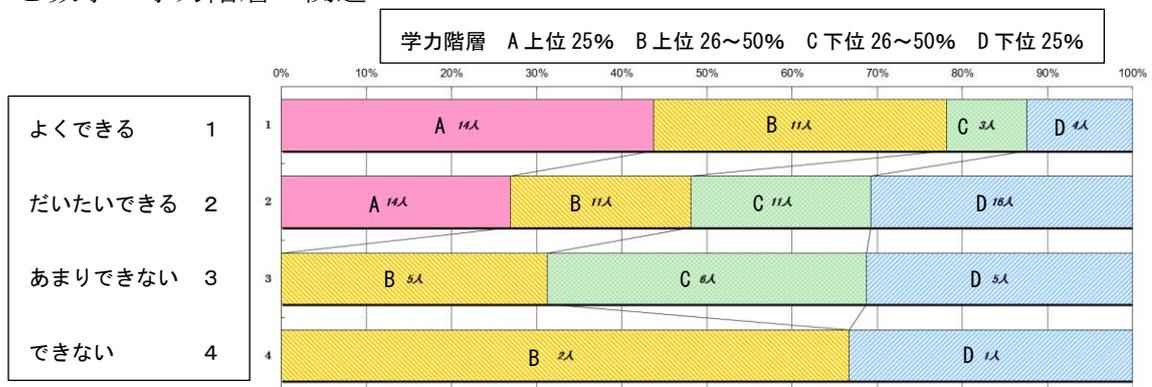
**国語**は伸びている生徒の率は県平均を上回っているものの、依然として苦手意識がある。基礎的な知識の習得を確実にいき、アウトプットまでできるようにさせていきたい。**数学**は伸びた生徒が多く、理解を深めている。とくに記述式問題であきらめずに解答した生徒が多い。**英語**は、県平均同等のスタート。現3年生のような伸びを今後に期待したい。

### 【1年生】

小学校6年次の学習内容が問われた。**国語**では、「話すこと・聞くこと、書くこと」の領域をとくに苦手としている。考えたことをまとめ、発表するところまで徹底させていきたい。**数学**（算数）では、基礎的な知識の習得で終わってしまっていて、記述式問題等での無解答が目立つ。全領域において数学の楽しさを知り、学力の向上につなげていきたい。

## 3 質問紙調査と学力の相関関係（2年生質問紙調査より）

質問「先生の話や友達の発表をしっかりと聞き、自分の考えを伝えることができますか」と数学の学力階層の関連



コミュニケーション能力を育成・発揮できている生徒は、数学の成績が向上（国語も同様のデータ）していることがわかる。他者の考えを受け入れ、自分で考えをまとめ、自信をもって発表（伝えること）ができるように、他者と学び合う（協働的な学び）習慣を身につけさせていきたい。